

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 恵那南高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月3日(月) 10:00~12:30
- 3 開催場所 恵那南高等学校会議室  
開催にあたり、委員による演劇ワークショップ参観を実施した。
- 4 参加者

会長	鈴木 康博	元県立高等学校長	
副会長	渡辺 康正	明知鉄道株式会社代表取締役	
委員	平崎 孝文	明智振興事務所長	
	根崎 育郎	本校同窓会長	
	中村 光代	恵那市立明智中学校長	
	塚田 直子	恵南商工会女性部部長	
	足立 伊公子	えな健幸生活支援隊事務局長	(欠席)
	石田 宏樹	株式会社ROBOZ代表取締役	
	杉浦 禎子	恵那南高等学校PTA代表	(欠席)
オブザーバー	水野 正敏	岐阜県議会議員	(欠席)
	岡田 庄二	恵那市教育長	
	林 尚志	県立高校地域連携コーディネーター	
学校側	安藤 範和	校長	
	柴 成吉	教頭	
	古田 智春	事務長	
	河村 拓士	教務主任	
	遠藤 龍一郎	生徒支援部長	
	小栗 優来	進路支援部長	

### 5 会議の概要

#### (1) 令和6年度の学校運営方針について

- ① 教育課程の編成に関する事項について
- ② 学校経営計画に関する事項について
- ③ 学校の組織編成に関する事項について

意見1：学校経営計画は昨年度と同じ内容か。

⇒県に提出する書式が変更になったため、見直しを行ったが、内容的には前年度を踏襲し

ている部分が多い。

意見2：昨年度から始まったデュアルシステムの評価と課題をどのように考えているか。

⇒学習成果発表会を行ったことにより、興味をもつ生徒が増加している。地元企業にも高く評価されており、参加企業も増えている。課題は成績のつけ方の公平性を担保することである。

学校運営方針について全委員より承認が得られた。

## (2) 令和6年度以降の恵那南高校の取組について

スクールミッションの策定について (学校側説明)

意見1：中学生の数が減少する中、入学者数が増加しているのはなぜだと考えるか。

⇒地元恵南地区からの入学者が増加しており、本校の教育の良さが地元中学校に浸透してきたためだと考える。

令和6年度以降の取組、スクールミッションの策定について全委員より理解が得られた。

## (3) 本校への提言

意見1：スクールミッションの案は非常によい。

意見2：デュアルシステムの取組は非常に良いものなので、課題を分析し、さらに改善していけるとよい。

意見3：デュアルシステムに参加している生徒を実際に見ているが、昨年度も今年度も非常にしっかりやっている。様々な業務を体験することが興味や就職した後の安心感にもつながっている。

意見4：恵那南ブランドの明確化ができるとよい。授業を見るととても良いことをやっているの、それを地域の人に伝えたい。少人数授業で手厚い指導が受けられ、進学にも有利なことなどがアピールできるとよい。生徒の説明が良くて良い印象をもったという話も聞いたので、生徒自身の声を伝えることを続けてほしい。

意見5：地元中学校にとっては通学の苦勞もなく、行事の楽しい雰囲気も伝わりやすい。中学と規模に近い安心感がある一方、新しい集団になる希望がある学校だ。今の中学生は成長したいとは思っているが、楽な方に流されやすい。教員に相談しやすい環境で、少人数で手厚いサポート、個別最適化された授業、自己有用感もてる指導が受けられることがアピールできるとよい。

意見6：中学生のインターンシップを担当しているが、こうした生徒の職場体験は担当する側にとっても楽しく、有意義なものだ。生徒の声で学校の良さを伝えられると良い。

意見7：ドローン学習は昨年度より受講者が増えたが、前向きに取り組む生徒が多い。ドローンの資格が取れる全国でも珍しい取組を行っているの、外部にさらにアピールできるとよい。

意見8：デュアルシステムは教育課程上3年生以外で実施することが難しいので、卒業生に対して実施してどうだったか追跡調査ができるとよい。

意見9：福祉に興味をもつ生徒が少なく、医療機関や福祉施設でも恵那市の介護人材育成修学資金について知らない人がいる。この制度のより一層の広報をし、福祉に興味をもつ生徒が増えるようになってほしい。

意見10：恵南5中学の統合の話が進行しているが、統合することになっても「浪漫学園」の取組を継続できるように働きかけていけるとよい。

意見11：通信制高校への進学も多くなってきているが、対面でのコミュニケーション力がやはり重要だ。演劇ワークショップを含め、通信制ではできないコミュニケーション力の向上ができることを打ち出してほしい。

意見12：本校ではどんな生徒でもしっかり育てるという意気込みが継続している。「産社総合学習発表会」を見ると、内容が年々向上している。通っている生徒の姿がよければ中学生も入学したいと思うが、本校は生徒の満足度が高いので、それがアピールできるとよい。また、中高連携も一つの方向だ。

意見13：地域で活躍する方が学校運営協議会の委員に揃っており、頼もしい。中学生が高校を選ぶ基準に学校が落ち着いている、真面目に生徒が学習に取り組んでいる、いじめ等がないといった安心感があるが、本校はそれに加え、少人数学習、多様な進路実現など、よい点が多くあるので、アピールできるとよい。

## 6 会議のまとめ

- ・第1回運営協議会では、全委員より今年度の学校運営方針について承認が得られた。
- ・会に先立ち演劇ワークショップ授業参観を実施したが、コミュニケーション力向上について高い評価を得た。
- ・本校の今までの取組、今後の取組に対しては概ね良い評価が得られた。特に昨年度から始まったデュアルシステムに対しては関心も期待も高い。
- ・良い取組が地元の中학생やその保護者には浸透してきたが、少子化の中、入学志願者数の増加には限界があるため、他地域にまで情報を発信していくことが課題である。